

2020 年度春期研究発表会 オンライン開催のお知らせ

今年度の春期研究発表会は、新型コロナウイルス感染症対策のため Zoom を使ったオンライン開催といたします。発表終了後には会員総会が行われますので、併せてご出席下さい。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時：2020年6月19日(金) 13:00~16:30

参加費：無料

問合せ：本間猛 (春期発表会担当理事)

E-mail: takeru.honma+phsj★gmail.com

(★をアットマークに置き換えて下さい。)

会員の皆様には、開催の 10 日前 (6 月の上旬) までには、参加方法の詳細を E メールもしくは郵送にてお伝えいたします。発表の詳細につきましては、別紙プログラムをご覧ください。

音韻論フォーラム 2020 予告

音韻論フォーラム 2020 が以下の予定で開催されます。招待講演ならびに学位取得者講演と一般研究発表で構成されています。また、オンライン授業に関するシンポジウムの開催も予定されています。

日時：2020 年 8 月 17 日(月)~19 日(水)

会場：ニューメディアプラザ山口

(山口県山口市熊野町 1-10)

開催形式および日時・会場などについては、今後変更になる場合があります。詳細については会員メーリングリスト、学会ウェブサイトおよび次号のニューズレターでお知らせいたします。

フォーラム研究発表募集

音韻論フォーラム 2020 の研究発表を、下記の要領で募集いたします。発表希望の方は奮ってご応募ください。

本フォーラムでの発表内容は、編集委員会での査読を経て『音韻研究』第 24 号 (2021 年 3 月刊行予定) に掲載されることになります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、発表 1 件につき、原則として 8 ページです。

<応募要領>

発表テーマ：音韻論・音声学に関するもの、あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの

使用言語：日本語または英語

発表形態：一般発表またはワークショップ

送付方法：いずれの発表形態の場合も(1)要旨、(2)発表者情報を別のシートに記載し、下記の担当理事宛に送信する。

応募資格：会員のみ応募可能。ただし共同発表の場合は筆頭発表者が会員であればよい。

応募件数：同一発表者による応募は 2 件以内とし、このうち筆頭発表者としては 1 件とする。

I. 一般発表の場合

- (1) 「要旨」には、タイトルと発表要旨のみを記入する (氏名等は記載しない)。要旨は日本語の場合 2000 字以内、英語の場合 800 語以内とする。別紙に参考文献一覧を 1 枚以内で示す。
- (2) 「発表者情報」には氏名、所属、発表タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載する。

II. ワークショップの場合

- (1) 「要旨」は、ワークショップ全体に関するものと、各発表者によるものを用意し、代表者を取りまとめ、一括して送信する。各要旨には、タイトルと発表要旨のみ記入する (氏名等は記載しない)。各要旨は日本語の場合は 2000 字以内、英語の場合は 800 語以内とする。要旨各々につき、参考文献一覧を 1 枚以内で示す。
- (2) 「発表者情報」には発表者全員の氏名、所属、タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載する。代表者に印をつける。

E メールで PDF ファイルを送信する (PDF ファイルの作成が不可能な場合は、Word ファイルにて送信する)。E メール送信や PDF ファイルでの投稿ができない場合などは、事前に担当理事に連絡すること。

書式：A4 サイズに発表時の使用言語で記載。

締め切り：2020 年 6 月 30 日(火)

送付・問合せ先：太田聡 (フォーラム担当理事)

E-mail : ohta@yamaguchi-u.ac.jp

E メールでの応募が不可能な場合は事務局までお問い合わせください。

書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効となりますので、ご注意ください。7 月中旬に発表の可否を通知予定です。

旅費の補助について

本学会では、若手研究者への支援を目的として、非有職者（学生や非常勤講師等）かつ、遠隔地からの発表者を対象に、旅費の補助を行います。 春期研究発表会、音韻論フォーラムいずれの時期も対象で、一人上限国内2万円、海外5万円です。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は発表応募時にお知らせ下さい。

『音韻研究』23号送付延期について

例年ニューズレター1号とともに会員の皆様にお送りしております学会誌『音韻研究』について、新型コロナウイルス感染症の影響により、最新号の送付を当面のあいだ延期いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解をお願い申し上げます。なお、各号の目次については学会ウェブページ「『音韻研究』バックナンバー」からご覧になれます。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入可能です。また、『20周年記念論文集』（2016）や本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』（1996）についても、特別価格で購入可能です。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係
〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-2 水上ビル4F
TEL : 03-5842-8900
FAX : 03-5842-5560
E-mail : kawata@kaitakusha.co.jp

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいませよう、お願い申し上げます。

E-mail 末尾もしくは封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち9,0は、それぞれ2019,2020の各年度の会費が未納であることを意味します。アスタリスクは会費納入済みであること、括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*0[5t]」と印字されていれば、2020年度の会費が未納であり、その総額が5,000円であることを意味します。

年度にかかわらず未納分の会費が納入されましたら、当該年度の『音韻研究』を無料で送付して

います。
ご確認の上、未納の会費を以下の郵便振込で納入していただきますよう、お願いいたします。振込用紙は後日、郵送いたします。また、学会会場でのお支払いも可能です。

郵便振込
口座番号：00180-6-402077
加入者名：日本音韻論学会
他行から：ゆうちょ銀行〇一九（ゼロイチキウウ）店（019）当座0402077

年会費
維持会員：10,000円
一般会員：5,000円
学生会員：4,000円

「維持会員」は、本会を格別に支援して下さる会員です。年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

また、会員情報（住所、所属、連絡先）が変更になった場合は、必ず**事務局 会計**にご連絡下さい（学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も必ずご連絡下さい）。連絡されないままにされますと、ニューズレターや『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんのでご注意ください。

日本音韻論学会事務局

【事務局長（学会所在地）】
西村 康平（青山学院大学）
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
青山学院大学国際政治経済学部
TEL : 03-3409-8836（直通）
E-mail : t25318@aoyamagakuin.jp

【会計担当】
渡部 直也（東京大学）
〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科
言語情報科学専攻
TEL : 03-5454-6376（代表）
E-mail : watabe@boz.c.u-tokyo.ac.jp

【事務局補佐】
坂本 洋子（獨協医科大学）
〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880
獨協医科大学医学部 語学・人文教育部門
TEL : 0282-87-2481（代表）
E-mail : y-saka@dokkyomed.ac.jp